

## 令和5年度 島根県私立保育連盟青年部 全体研修会報告

令和5年7月15日（土）、出雲市のパルメイト出雲に於いて、島根県私立保育連盟 青年部 全体研修会を開催いたしました。

島根県私立保育連盟青年部では、「次世代の若手職員の育成」を目標に研修会の企画・運営を行っております。この度の研修会でも、昨年度に引き続き島根大学大学院 教育学研究科 教授 原広治先生を講師にお迎えし、若手職員の育成を担当しておられる職員を対象に『若手職員の育成に対して願うこと思うこと』と題し、ご講演をいただきました。

ほとんどの参加者が初対面であるため、まずは参加者同士の自己紹介からコミュニケーションを図り、各グループ内で緊張した空気を和らげることから始まりました。



KJ法を活用したグループディスカッションでは、若手職員に対する悩みについて、「職場の人間関係がうまくいっていない」、「保育技術が足りてない」、「時間の使い方がわかっていない」といった意見がでており、そのような若手職員たちへの関わりについて、「指示やアドバイスは的確に」、「若手の成長や変化を言葉で伝える」、「若手の意見に耳を傾ける」、「互いに意見が言い合える雰囲気を作る」といった、原先生の助言がありました。



参加者からは、「今どきの若い子という先入観を捨てないといけない」、「自分の時代では考えられなかった褒めて伸ばす大切さを実感した」、「時代に合わせてベテランも変わらなければいけない」、「もっといろいろなことを話したかった・まだまだ話し足りない」といった声がありました。

今回の全体研修会でも、若手職員の育成を担う先生方にとって、若手職員とどのように関わっていけばよいか、また、情報共有という側面においても様々な園の先生方とのグループディスカッションは、とても充実した研修会となったのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症も5類へと移行し、園の行事等が動き出したこと大変にお忙しい時期での開催となりましたが、沢山の先生方のご参加いただき、研修会報告と合わせて心より御礼申し上げます。

今後とも青年部の活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

